

第6学年 社会科指導案

日 時 平成24年10月17日(木)

児 童 男子13名 女子10名 計23名

指導者 河野 美恵

1 単元名 平和で豊かな暮らしを旨として

2 単元を展開するにあたって

(1) 単元について

本単元は、新学習指導要領第6学年の内容(1)のケ「日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。」を受けて設定されたものである。

児童は前単元「アジア・太平洋に広がる戦争」の学習において、日本がアジア・太平洋地域において、アメリカを中心とする連合国との戦いに敗れ、国民が大きな被害を受けたことを学習した。また、日本が中国をはじめとする東アジア諸国に大きな損害を与えたことについても学んできた。

このような学習を受け、本単元では、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきた経緯について学習する。1945(昭和20)年8月15日、戦争に敗れた日本は、アメリカを中心とする連合国軍に占領され、その指示のもとで国づくりを進めていった。1946(昭和21)年11月3日には、新しい国づくりの基本となる日本国憲法が公布され、翌年の5月3日から施行される。その内容は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の3つを柱として、民主主義のもとに平和な国をつくることを旨としたものであった。そして、1956(昭和31)年の国際連合への加入によって国際復帰を果たした日本は、1964年(昭和39)年10月10日に、アジアで最初の東京オリンピックを開催する。その後、日本は復興を願う多くの国民の努力によって産業が発展するとともに、国民の生活も向上し、戦後67年、平和で豊かな国として歩み続けている。しかし、国内、周辺の国々との間には様々な課題も残されている。

(2) 児童の実態

子ども達は、小単元「二つの戦争と日本・アジア」では、日清・日露戦争や韓国併合について調べる中で、日本が富国強兵の国づくりを行い、不平等条約を改正したり産業を発展させたりしたことを学習した。また、「戦争と人々の暮らし」では、日中戦争から太平洋戦争と広がり大きな被害を受けたことや戦時中の暮らしなどについて学習した。

これまでの学習の中で、歴史に少しずつ興味をもち、中でも、時代を代表する人物の業績や、人々の生活の様子などについて意欲的に調べたりまとめたりして学習に取り組むようになってきている。また、学習課題に対する予想をもとに問題解決にあたる学習に取り組んできた。問題解決的な学習を進めるなかで、写真や文章などの資料から時代の変化について読み取ることはできるようになってきている。しかし、見つけた資料を関連付けて読み取ったり、資料から読み取ったことをまとめて、その歴史的事象の意味や価値を考えたりすることはまだ不十分である。また、自信がもてないために、資料を見つかったり読み取ったりしても、積極的に発言することをためらう児童もいる。

(3) 指導にあたって

本単元の指導に当たっては、写真や新聞記事、人々の話など、その当時の様子が具体的に分かる資料を提示し、子どもたちに問題意識をもたせながら、意欲的に学習することができるようにしていきたい

導入では、終戦直後の人々のくらしの様子について、写真をもとに、当時の生活ぶりをとらえさせる。その後、東京オリンピックが開かれた事実から、当時の人々の様子を比較することによって、敗戦後の日本の発展について問題意識をもたせ、単元の学習課題を設定していく

展開の戦後の改革については、既習事項である戦前の社会と比較させたり、戦時中の人々の思いなどに関連させたりしながら、日本国憲法の制定やそれをもとにした民主的な改革について調べさせることによって、民主的な国家を目指して出発したことをとらえさせたい。また、オリンピック開催の様子を調べ、当時の経済成長の様子や人々の気持ちについて考えさせたい。そして、新幹線の開通や経済の発展などについて調べ、国民生活が向上したことについて考えさせていく。

近隣諸国との関係については、時事的な話題にも触れながら、児童にとっても身近な問題として押さえられるようにしたい。

それぞれの学習場面で、写真や新聞記事、人々の話など当時の様子が具体的に分かる資料を提示し、子ども達が意欲的に学習することができるようにしていきたい。また、既習事項と比較検討できるような資料を準備し、複数の資料を比べたり関連付けたりしながら理解を深めていけるようにしたい。調べたことや考えたことを交流する際には、子どもたちが明確な視点をもって歴史的事象の意味や価値について話し合い、それをもとに自分の考えをまとめることができるようにしていきたい。

3 単元の目標

- 我が国の戦後の歩みについて関心をもち、進んで調べようとするとともに、これからの日本の課題やよりよい発展について考えようとする。 [関心・意欲・態度]
- 戦後、我が国が民主的な国家として出発し、国民の普段の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことや、平和で民主的な国家の一員として世界の人々とともに生きていくことの大切さについて思考・判断したことを表現できる。 [思考・判断・表現]
- 日本国憲法の制定、オリンピックの開催など、我が国の戦後の歩みについて、写真や年表、グラフ、映像などの資料を活用して必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりできる。 [技能]
- 戦後、我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力によって産業が発展するとともに国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解する。 [知識・理解]

4 単元計画と評価規準（6時間）

過程	時数	学 習 活 動	評 価	資 料
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・写真「終戦直後の人々の様子」をもとに、その当時の人々の暮らしの様子をとらえる。 ・読み物「当時を知る人の話」から、終戦直後の人々の暮らしや願いを具体的にとらえる。 	<p>戦争が終わった後の社会の変化に興味・関心をもち、学習問題を考え表現している。</p> <p>[思 発言・ノート]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真：買い出し列車 ・写真：青空教室 ・写真：焼けあとを学校へ向かう ・写真：満州から引きあげてきた子どもたち ・写真：東京オリンピック

第一次 6 時 時 間	1	<ul style="list-style-type: none"> 投票する女性の写真や年表などから、戦後、様々な改革が行われたことに気付く。 戦後の様々な改革や日本国憲法について調べる。 	<p>各種の資料から、我が国が民主的な改革と平和主義的な日本国憲法を制定することにより、新しい国として出発したことを読み取ってまとめている。</p> <p>[技 ノート]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 写真：学校給食が始まる 写真：投票する女性たち 写真：戦後のさまざまな改革 写真：すみぬり教科書 写真：日本国憲法の三つの柱 写真：新しい憲法のはなし 写真：大日本国憲法
	1	<ul style="list-style-type: none"> 戦後日本でアジア初の東京オリンピックが開催されたことから、日本の国際社会への復帰について問題意識をもつ。 日本の敗戦からどのような経緯で国際的な地位を回復していったのかについて調べる。 日本の国際社会への復帰、オリンピック開催に対する当時の人々の気持ちを考え話し合う。 	<p>日本が独立を回復したことによって、オリンピックが開催できたことを理解している。</p> <p>[知 発言・ノート]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 写真：平和条約の調印 写真：オリンピック東京大会の開会式 写真：日本人選手の活躍 おじいさんの話 写真：東海道新幹線の開通
	1	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線の開通や経済発展の様子などについて調べる。 急激に産業が発展したが、そのために公害などの環境問題が起こったことをとらえる。 	<p>オリンピックの開催が契機になり、国際社会に認められるとともに、さらに経済が発展し、国民の生活が向上したことを理解している。</p> <p>[知 発言・ノート]</p>	<ul style="list-style-type: none"> 写真：高速道路の整備 写真：都会の工場に働きにきた若者たち 写真：大勢の人でにぎわう大阪万博 グラフ：電気製品の普及 お母さんの話 写真：ルームエアコンが並ぶ店内 写真：汚れた空気を吸わないようにマスクをする子どもたち
	1	<ul style="list-style-type: none"> 現在の日本が抱える問題や国際社会における課題を調べる。 問題や課題を解決するために、日本はどのような国をめざせばよいか考える。 学習を振り返り、これからの日本がめざす姿を考え、表現する。 	<p>現在の日本が抱える問題や国際社会での課題、日本が果たすべき役割について考え、平和で民主的な日本の一員として世界の人々とともに生きていくことの大切さを表している。</p> <p>[思 ノート・発言]</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を想起できる掲示物等 写真：サッカーワールドカップ開会式 写真：日本と北朝鮮の代表の話し合い 写真：日中平和友好条約の調印 地図：未解決の北方領土 写真：沖縄のアメリカ軍基地

1	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の学びのてびきを参考にし、これまで学習してきたことをレポートにまとめる計画を立てる。 テーマを設定し、その内容や新たに調べること、構成などを明らかにする。 レポートを作成し、完成したレポートを読み合う。 レポートについての意見交流を通して、自分の考えを深める。 	<p>テーマにそって、意欲的に記述内容を決したり、調べ直したりしている。</p> <p>〔関 学習態度、学習活動〕</p> <p>これまでの学習を生かし、歴史的事実をしっかりとさえ、それに基づいた意見をレポートにまとめている。</p> <p>〔思 ノート・レポート〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> レポートの見本 レポートを拡大したもの（掲示用） 学びのてびき
---	--	---	---

5 本時の学習

(1) 本時の指導

今まで子どもたちは、戦争が終わったころの暮らしの様子や人々の願いを調べ、戦後に目ざされた国づくりについて単元の学習課題を設定した。また、日本国憲法の制定やさまざまな改革が進められていく過程を調べ、戦後に目ざされた国づくりを理解してきた。

本時では、戦後東京でオリンピックが開催された事実をとらえさせ、日本がどのようにして独立を回復していったのかをおさえさせたい。課題の把握は、敗戦後わずか20年足らずでオリンピックが開催された事実から「なぜ、日本はオリンピックを開催することができたのか。」という学習課題をとらえさせる。展開では、資料から日本が独立を回復した経緯を調べさせ、オリンピックが開催された事実との関係を理解させたい。また、オリンピックの開催されたところの人々の気持ちを考えさせ、オリンピックが開かれたことの意味や意義をとらえさせたい。

(2) 目標

日本が国際社会へ復帰するまでの歩みについて調べ、オリンピックが開催されたことを理解することができる。

(3) 仮説との関わりから

資料から必要な情報を読み取ったあとで、友達の考えたことと比較・関連づけ・統合しながら自分の考えを再構成するようノートに表現させていきたい。(手立て1)

学んだことをもとに、オリンピックが日本で開催された当時の人々の気持ちを考え発表する言語活動を通し、オリンピックが開かれたことの意味や意義をとらえさせたい。(手立て2)

	評価規準	具体的評価規準A	具体的評価規準B	支援の手立て
評価	<p><知識・理解></p> <p>調べたことから日本が国際社会に認められることによって、オリンピックが開催されたことを理解している</p>	<p>調べた事実在即して、正しく理解し、関連し合っていることに気づいている。</p>	<p>調べた事実在即して、正しく理解している。</p>	<p>戦後日本が国際社会の中でどのような立場になっていったのかとらえさせる。</p>

(4) 展開

段階	学習活動と内容	指導上の留意点・評価方法	資 料
<p>問題の把握 5分</p>	<p>1 敗戦後日本の社会がどのように変わってきたのかを振り返る。</p> <p>2 東京オリンピックが開かれたことを知り、学習課題を設定する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を振り返り、戦後目ざされた国づくりについて想起させる。 ・改革は進められているものの、アメリカを中心とする連合軍の指令もとで進められていたことを確認する。 ・大変な状況の中、戦後わずか19年で東京オリンピックが開催されたこと、またアジアで最初に開かれたオリンピックであることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後のさまざまな改革・日本国憲法の三つの柱などの写真 ・東京オリンピックの写真
	<p>なぜ、日本はオリンピックを開催することができたのだろうか。</p>		
<p>問題の追及 32分</p>	<p>3 予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争が終わって平和になったから。 ・憲法ができて政治が安定したから。 ・道路や建物など建ったから。 ・経済が発展したから。 <p>4 教科書の資料を使い自分で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界48か国と平和条約を結び独立を回復した。 ・国際連合への加入を認められ、国際社会に復帰した。 ・アメリカと軍事や経済の結びつきを強めながら、産業を発展させていった。 <p>5 戦後行われたロンドン大会では、大戦の責任から日本はオリンピック参加できなかったことを知る。</p>	<p>※教科書からノートにまとめ、調べたことを出し合うことができる。</p> <p>※オリンピックに参加できなかった事実を知ることによって、日本が国際社会で独立を果たしたこととオリンピックを開催したことを関連づけて考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書資料

	<p>6 学習のまとめとする。</p>		
		<p>日本は、 (平和条約を結んで独立を回復したり、国際連合への加入も認められたり、産業を発展させたり、) することによってオリンピックを開催することができた。</p>	
	<p>7 オリンピック当時の人々の様子や気持ちを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の人々の様子が分かる資料を提示したり、地域の方のインタビューを聞いたたりし、オリンピック開催によって人々の気持ちが高揚していたことを実感させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の様子を表した写真 ・ビデオ
<p>ひろげる 8分</p>	<p>9 本時の学習を振り返り、オリンピックが開催された当時の人々の気持ちを考え、発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックが開催された当時の人々の気持ちを想像し、オリンピックが開かれた意味や意義をとらえさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート

板書計画

日にち ページ

課題

なぜ、日本はオリンピックを開催することができたのだろうか。

予想

- ・戦争が終わって平和になったから。
- ・憲法ができて政治が安定したから。
- ・道路や建物など建ったから。
- ・経済が発展したから。

調べたこと

- ・世界48か国と平和条約を結び独立を回復した。
- ・国際連合への加入を認められ、国際社会に復帰した。
- ・アメリカと軍事や経済の結びつきを強めながら、産業を発展させていった。

まとめ

日本は、
(平和条約を結んで独立を回復したり、国際連合への加入も認められたり、産業を発展させたり、)
することによってオリンピックを開催することができた。

東京オリンピックの
写真

国民の様
子を表し
た写真

国民の様
子を表し
た写真

戦日本人選手の活躍を見てうれしくなった。
争に負けて自信をなくしていた日本人が明るい気持ちになったと思う。
戦中・戦後に苦しい時代を耐えてきた人々は日本が復興したことをほこらしく思った。

ノート (例)

課題

なぜ、日本はオリンピックを開催することができたのだろうか。

まとめ

日本は、
(平和条約を結んで独立を回復したり、国際連合への加入も認められたり、産業を発展させたり、)
することによってオリンピックを開催することができた。

<予想>

<友達の考え・板書の書き込み>

<調べたこと>

オリンピック当時の人々の気持ちは・・・